学校番号	T3009

令和８年度　（学）社会科学科

教科	(学)社会科学	科目	史跡探訪A	単位数	1単位	年次	１～４年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作プリント・タブレット端末等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・事前・事後の学習及びフィールドワークの活動状況のすべてが評価の対象です。どれか１つでも欠けると単位の修得が難しくなりますので、休まずに参加してください。
・知りたい、見てみたい、聞いてみたい、触ってみたい、嗅いでみたいなど、皆さんの好奇心や知的探求心に応じて実際に行ってみよう・やってみようという科目です。授業への積極的な参加・発言を期待します。

２　学習の到達目標

「大阪と諸外国との関わり」をテーマに地域に根ざす伝統・文化や歴史的建造物、文化財に触れることを通して、社会と連携・協働しながら未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むことをめざす。
【知識及び技能】
大阪と諸外国の交流に関する歴史的背景を調べ、実際に交流の様子がわかる場所へ出向くことで様々な見方から歴史と諸外国の文化等を理解し、それをまとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
大阪の地理や歴史的背景と諸外国の文化や歴史的背景とを比較し、どのような関連があるのかを多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
大阪の地理や歴史的背景とこれまでに学習した内容を多面的・多角的に考察しようとする態度を養うとともに、自らが授業外でも主体的に他国の文化を受け入れ自ら交流しようとする態度を育む。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	大阪と諸外国の交流に関する歴史的背景を調べ、実際に交流の様子がわかる場所へ出向くことで様々な見方から歴史と諸外国の文化等を理解し、それをまとめる技能を身につけている。	大阪の地理や歴史的背景と諸外国の文化や歴史的背景とを比較し、どのような関連があるのかを多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	大阪の地理や歴史的背景とこれまでに学習した内容を多面的・多角的に考察しようとしている。また、自らが授業外でも主体的に他国の文化を受け入れ自ら交流しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通年	「大阪と諸外国との関わり」	事前学習	a:訪問する地域やその地域と結びつきの深い国についてグループ別で調べ学習をし、歴史的背景への理解を深めている。 c:フィールドワークを通して何を学びたいかを積極的に考察している。	事前学習シート		事前学習シート
		フィールドワーク	b:事前学習で自らが調べた内容と実際の様子の相違点などを考察し、自分なりの視点で表現している。 c:事前学習で自らが調べた内容と実際の様子の相違点などを積極的に調べようとしている。		観察レポート	観察
		事後学習	a:事前学習やフィールドワークを通して得た知識を理解し、わかりやすくスライドにまとめられている。 b:事前学習やフィールドワークを通して得た知識を多面的・多角的に考察し、わかりやすく他者に伝えることができる。また、それらを基に議論することができる。 c:他者のプレゼンを積極的に聞き、質問等をして、まとめシートを完成させている。	プレゼン資料	プレゼンテーション	まとめシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度